

■ 介護職員等処遇改善加算

ぎおん牛田病院 (通所リハビリテーション)

区分	内容
入職促進に向けた取組	・毎年度目標管理シートを作成して法人理念や部門目標を共有する。
	・法人全体での職員採用、人事異動によるローテーションの実績あり。
	・無資格未経験、またはブランクのある職員採用実績あり。
	・臨床実習の受け入れや地元の中学生の見学の受け入れをして、利用者との交流の機会を設けている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	・資格取得支援のための法人による費用負担、勤務調整を実施している。
	・人事考課において研修受講等の自己研鑽、積極性を評価。
	・勤務時間内に定期的に研修を実施している。また休日のスタッフやパート職員や時短職員にも共有できるようにしている。
	・年に2回、所属長との面談機会を設けている。
両立支援・多様な働き方の推進	・産休、育休の取得実績あり。
	・育児のための時短勤務制度の導入し実績あり。
	・有給休暇取得の促進を積極的に行っている。
	・職員のハラスメント等相談窓口を設置している。
腰痛を含む心身の健康管理	・職種、雇用形態を問わず健康診断とストレスチェックを実施している。
	・事故・感染対策への対応マニュアル等の作成を行い、定期的に研修・訓練を実施している
生産性向上のための業務改善の取組	・タブレット端末等のICT活用による業務量の縮減
	・5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備
	・介護記録システムを導入することで記録の負担軽減や円滑な情報共有を行っている。
	・各種マニュアルを整備して対応している。
	・1回/月に行われる業務改善委員会で業務の見直しを行い、負担の軽減を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	・定期的にミーティング、カンファレンスを行い、勤務環境やプログラムの改善をしている。
	・外部、内部問わず研修への参加を積極的に促進している。
	・地域包括ケアの一員として県主催の地域リハビリテーション専門職等研修を修了しており、実際の地域のサロンで講師対応している。
	・利用者、家族から寄せられた謝意などを朝礼で職員に伝達している。